



AIYES 通信

横浜スペイン交流協会会報

2003年9月1日発行 第36号 発行・横浜スペイン交流協会事務局

故デル・カスティージョ元駐日スペイン大使 50回忌追悼ミサ・墓参に ハビエル・コンデ現大使ご参列

親日家として知られ、領事（1934～1938）として、また主席代表、のちに大使（1949～1954）としてと、二度も日本に勤務された、故フランシスコ・ホセ・デル・カスティージョ氏のご遺体は横浜の山手外人墓地に埋葬されました。そして今年6月18日のご命日は、50回忌にあたります。

その元大使カスティージョ氏の霊をお慰めしようと、当協会はカトリック山手教会において、ペドロ・ルイス・ペレア神父の司式のもとに6月17日に追悼ミサを執り行いました。

このミサにご多忙の中、ハビエル・コンデ現大使ご夫妻は、アギーレ文化担当参事官、F・ベニーテス参事官ともどもご参列下さいました。ミサの後は墓前にスペインのイメージをあしらった花輪を手向け、また40名の参列者も、一人ひとりが白いカーネーションを捧げました。



▲横浜山手外人墓地での墓参

コンデ大使にはこれが横浜を訪れる初めての機会でしたので、大使の歓迎会を山下公園沿いのザ・ホテル・ヨコハマのレストラン「カラベル」で行いました。



▲談笑されるハビエル・コンデ大使

下山会長の歓迎の言葉に続いて、大使は、この日のミサ及び墓参はスペインと横浜の交流のシンボリックな行事であり、また、昨年起こったガリシア地方での海洋汚染に協会及び関連の方々の素早い対応と義援金に対して感謝の言葉を述べられました。さらに、在日スペイン大使館の改築工事終了の折には、当協会からの「横浜桜」の寄贈の申し出を心よりお受けし、スペインと当協会との友情のしるしとしたい旨のご発言もありました。

歓迎会は大使ご自身が参会者と歓談をしたり、一緒に記念撮影に応じられたりと、とても和やかな雰囲気の中で進み、トゥナのホールへさんによるスペインの歌の披露や、歌唱指導、合唱や飛び入りの独唱、ダンスなど盛り沢山のプログラムが短い間に次から次へと飛び出しました。

初めてお会いする会員同士も、互いに自己紹介をし合いながら、親睦の輪を広げ、戸外の雨模様をすっかり忘れさせるひと時でした。

2003年度定時総会開かれる

2003年度の定時総会は、去る5月11日(日)午後2時より、かながわ県民活動サポートセンター711号室で、会員30名が出席して開催されました。

事務局長の廣瀬理事の司会で、会長、副会長、及び井口監事、並びに田野井参与を出席者に紹介し、会長の挨拶から始まりました。

会長の挨拶の中で、ハビエル・コンデ新駐日スペイン大使着任の挨拶状が披露され、その後議事に入りました。規約により、会長が議長に選任され、早速、飯塚副会長より2002年度の活動報告、続いて齋藤副会長より2002年度の一般会計及び特別会計の決算報告がありました。

この報告の後、井口監事より監査報告がなされ、採決の結果異議無く可決されました。

つづいて2003年度の事業計画は飯塚副会長より、それに対する一般会計及び特別会計の予算案は齋藤副会長から提示されました。

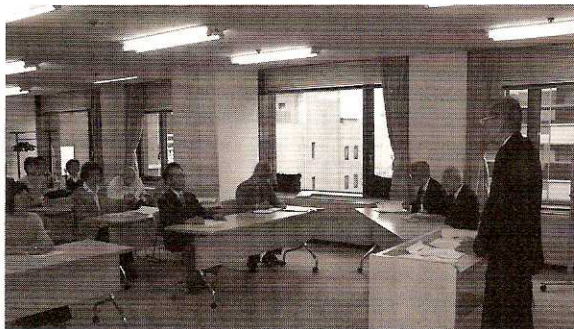
2003年度の活動の特徴は、すべての会員が、いろいろな行事に参加しやすいような事業計画及び予算を編成したこと、と会長から説明がありました。これは単に参加費だけでなく、日時や、場所、行事の内容など広く考慮をして、出来るだけ多くの会員が参加をして、親睦を深める機会にもしたいとのことでした。

主な事業計画の一部として、「スペイン・サロンの充実」、「P C教室の開設」、「広報の充実」(「AIYES通信」を会員同士のコミュニケーションの場とする。「ホーム・ページ」開設1周年を機にリニューアル計画)、「協会の歴史資料の整理」、「各地区のスペイン協会との連携」、「植樹したスペインのさくらのメンテナンス」、「ロンダ市へのベンチの寄贈」などがあげられます。

これらの事業計画及び予算案に付いて採決の結果、全会一致で可決されました。

最後に、重田忠理事より3月31日付けで辞意が表明され、その補充として、伴野芳信前理事を推挙した結果、承認されました。

総会は無事午後3時に閉会をし、その後軽いお茶とお菓子で、出席者一同歓談をして解散しました。



▲挨拶する下山会長

***** スペイン・サロンへのお誘い *****

2003年9月、10月、11月のスペイン・サロンのご案内を致します。

●2003年9月度例会

日 時： 9月19日(金) 19:00~20:30 (18:30 開場)

場 所： 大倉山記念館 ホール (東横線大倉山駅下車徒歩7分)

テーマ： 『柳貞子スペインの歌とお話』

当協会参与柳貞子さんの生のスペインの歌を、伴奏(ギター)は柴田杏里さんをお願いして楽しみたいと思います。13世紀から現代に至るまでのさまざまなジャンルの歌を解説しながら歌っていただきます。

参加費： 2,000円 (会員・非会員共) 全席自由席、予約制です。

●2003年10月度／11月度例会

日 時： 10月18日(土) 14:30~16:30

11月15日(土) 14:30~16:30

場 所： 県民サポートセンター4階/403号

講 師： 小西章子さん

テーマ： 『イサベル女王』

昨年11月に当サロンで講演をしていただいた小西章子さんが大好評で、リピートの要望がありましたので、今回はカトリック両王のイサベル女王について10、11月の2回シリーズで話していただきます。

参加費： 会員 1,000円 非会員1,200円(茶菓代を含む。各会とも)

●2003年12月度例会 12月度は例年通りスペイン・サロンはお休みです。

●2004年1月度例会 例年の如く新年会をしたいと考えていますが、日時、場所等は未定です。

担当／大竹智栄子
鎌田暁子

宮川美句子
牧瀬 貢

スペインの歴史、伝統食文化を知るスペイン・サロン

●4月のスペイン・サロン：「狂女王ファナ」西川和子氏

精神に破綻をきたした女王が50年間もの長き間王であり続けた……。何故それが可能であったか、周囲の人々の思惑はいかに……。

これが今回の西川氏の講演、「狂女王ファナ」の本題でした。

ファナが幽閉されていた何も無い小さなトルデシージャスの村で、彼女はいったい何を考え、どう暮らしていたのでしょうか？

氏はこうした疑問に、当時のヨーロッパの時代背景も取り入れて、詳しくお話してくださいました。後半はスライドで、若い頃のふっくらしたファナや、美公と呼ばれた夫フェリーペの肖像画等を、宮廷画の見方も交えての解説。ファナが幽閉されていた塔やサンタ・クララ教会、彼女も当時見たであろうドウエロ川にかかるローマ橋の写真などは、16世紀初頭を偲ばせるのに十分でした。

最後に参加者から「彼女がフェリーペの棺をひいて歩いた馬車が今もマドリードの馬車博物館にあるのでは？」と言う興味深い質問もあり、これは次回スペインに行った時、是非確かめねばと思いました。

報告者：真木幸子



▲パソコンも駆使して講演する西川和子氏

●5月のスペイン・サロン 5月度はお休みでした。

●6月のスペイン・サロン：「スペインについて話そう」（その4）

<トルティージャ、スペイン風オムレツについて>を参加者全員でわいわいがやがやと楽しみました。たかがトルティージャ、されどトルティージャ……。今月のサロンは実に美味しく、実に楽しい、時の過ぎるのも忘れるひと時でした。

“TORTILLA”の語源からはじまり、その変遷、様々な食材、作り方、果ては沖縄のゴーヤを使った“GOYA（？）”トルティージャまで登場したのにはびっくり!! さすが料理研究家でもあるスペイン・サロン委員の鎌田さんの説明は皆の注目をひきました。

他にも我こそはと、サロン委員の宮川さん、大竹さん、そしてメキシコ、スペインに滞在経験のある当協会の安田さんからも差し入れがあり、その上サラマンカ出身のパコさんからは母の味の本場のトルティージャをいただきご馳走様でした。それに葡萄ジュースの香りにチョッピリ頬を染めての帰路はこの上もなく心地良いものでした。

このサロンも徐々に多様化し、毎回魅力的な充実した内容で、委員の皆様のご努力の程が伺われます。未参加の会員の皆様、一緒に楽しみませんか。

報告者：高嶋美枝子



▲和気あいあいの試食会

●7月度のスペイン・サロン：「スペインについて話そう」（その5）大濱秀夫氏

7月度例会は、多くの会員が参加し、和気あいあいの中、有意義な時間を過ごしました。

例会の主題は『スペインについて話そう』（その5）として、地方色豊かな<カタルーニャ地方>について、日本・カタルーニャ友好親善協会の大濱事務局長が長年の駐在経験をもとにスライドを使用して、分かりやすく説明されました。

ここで、主な内容を記してみます。先ず、サグラダ・ファミリアの映像が画面に映し出されました。日本・カタルーニャ友好親善協会は、1985年に設立され、事務局はグエル公園、サグラダ・ファミリアが見渡せるバルセローナの一面に設け、1986年からサン・ジョルディの日に、キャンペーンを始めました。

4月23日のサン・ジョルディの日には、バラの花に麦の穂を添え、男性から女性に贈るという習慣が昔からあり、この日には、イベントとして市場が開かれ書籍を安価に手に入れることができる、ブック・フェア期間でもあります。

2002年にはバルセローナを中心に、ガウディ・イヤーが生誕150年を記念して開催されました。日本では、東京都現代美術館でガウディ展が今秋開催される予定です。

次に、料理の話に移ります。カタルーニャの特産は、ブチハラという名の豚の腸詰めで、大変美味だそうです。また、カルソツツという名のネギ料理は、毎年12月から翌3月までが賞味期間で、ネギの蒸し焼きにサルサを付けて食べるもの。

この早食い競争で日本の中学生がチャンピオンになったことや、続いてカタルーニャのワインについて話があり、クリオラット産の物が大変好評に販売されているということでした。

最後にピレネーの乗馬の話で終わりました。その後、出席者の皆さんのカタルーニャでの経験談や、思い出などを話していただきました。

報告者：澤田真人



▲講師の大濱氏を交えて歓談時間も楽しく



文化講座からのお知らせ



たのしい 絵画教室

絵画教室が原則毎月第1土曜日13:30から、島津画伯のアトリエで開かれています。
「描くのはちょっと……。」とおっしゃる方、覗きにだけでもいらっしやいませんか。

・9～12月の開催日

9月6日 10月4日 11月1日 12月8日

▶長崎オランダ坂 (増田邦夫画)



「スペイン音楽サロン」へのお誘い

第9回 (9月) スペイン音楽サロン

日 時：2003年9月9日 (火) 13:30～15:30

場 所：県民サポートセンター 7階/702号

テーマ：フラメンコのプロのカンタオーラの諸田京子さんのお話を伺います。

第10回 (10月) スペイン音楽サロン

日 時：2003年10月14日 (火) 13:30～15:30

場 所：県民サポートセンター 7階/702号

テーマ：サルスエラ「人騒がせな女 (La Revoltosa)」(チャピ作曲) を鑑賞します。

第11回 (11月) スペイン音楽サロン

日 時：2003年11月11日 (火) 13:30～15:30

場 所：県民サポートセンター 7階/702号

テーマ：飯塚勲さんからアルゼンチン・タンゴのお話を伺います。

●リブレートなどのコピーのため会費として会員、非会員共に1,000円を頂きます。

●申込み/問い合わせ先：安田秀之

スペインでのリサイタルとコンクール審査

上原 由記音

今春のスペイン滞在報告である。

イラクへの攻撃直後の出発だったが、何事も無く予定通りマドリッドに到着。王立マドリッド高等音楽院でハエン国際コンクールの審査員長G・ゴンサレス教授と打ち合わせの後、サラマンカへ出発。車で約2時間弱、13世紀に創立されたというサラマンカ大学のアウラ・サリーナへ行く。ここはオルガニストで大学の音楽教育を創設したサリーナの名前がついた大学内のホールで、今回の演奏会場だ。若い神学生たちの授業や卒業証書授与も行われたという重厚な雰囲気の大教室で、大変響きが良い。雨にも拘わらずサラマンカ合唱団の指揮者のピロ先生などをはじめ大勢のお客様を迎えることができ、プログラムは日本、スペイン、キューバの作品だったが、スペイン音楽の演奏へのブラボーが特に多かったのが嬉しい。



▲グラナダでの演奏

アビラ、エル・エスコリアルに寄り道し、マドリッドで元駐日スペイン大使レニャさんご夫妻に会う。お二人ともお元気だった。そして次は亡き恩師ルイス・ピポの故郷グラナダへ、アランフェス、ラ・マンチャを経由して向かう。リサイタル会場はアルハンブラ宮殿の近くの、マヌエル・デ・ファリャ記念館。こちらは近代的な立派なホールで、ピポの友人が設計した所。ここで彼の作品を弾くのも大きな目的の一つだった。主催者のグラナダ音楽院長パストール・ゴンサレス教授が最前列で聞いてくださった上、翌日、私は音楽院で講座を開いたが、その時、彼から私の為に書いてくれたピアノ曲のプレゼントがあり感激した。

半日だけアルハンブラを散歩し、ラローチャ先生の待つバルセローナへ。

久しぶりに先生のレッスンを受け、夜はラローチャ先生、F・モンポウ夫人、モンセルバーチェ夫人という音楽史を飾る3女性とすき焼きパーティー。記念の夜になった。

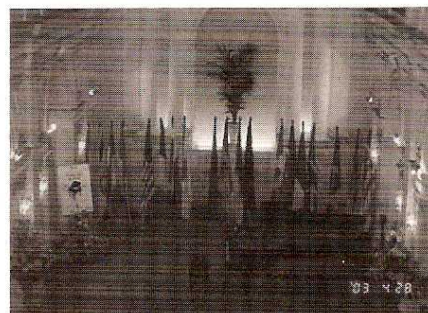
一旦帰国し、ハエン国際コンクールの審査のために4月23日夜、再びマドリッドに到着、そのまま車でハエンに向かう。夜中の12時ハエン着、市役所の人案内でカスティージョが美しくライトアップされた山の頂上に行き、これから始まる大仕事の前に神秘的な景色を楽しんだ。ハエンの町はアラブ時代の街並みが残っていて、コンクールが行なわれるハエン音楽院は、アラブ風の細い路地の坂道を登った判り難い場所にあった。

初日は、オープニングコンサート、開会式、出場者の順番決めが行なわれた。出場予定70数名のところ戦争とSARSの所為か実際の参加はその半数だったが、新聞社の取材が熱心で市民の関心が伝わってきた。翌日午前10時から審査が始まり、2時からの昼食とシエスタをはさんでまた午後5時から審査が続いた。もし予定通りの70名を審査したとしたら大変なスケジュールだったに違いない。1次、2次、3次予選と、どんでん返しが続き、残念ながら日本人の出場者7人は、音色も表現も変化に乏しい人が多く、選に選ばれなかった。

協奏曲での本選の前日はファイナリストがオルケスタと合わせの練習をするので我々はオフとなり、審査員皆でウベタとバエサへ観光に行った。アンダルシアで最も美しい町と言われるそうだが、静かでなかなか良かった。

本選は会場をハエン大学に移し行なわれたが、結果はあまりよくなく、コンクール50周年記念にこだわる主催者と審査員とでなかなか意見の一致が得られず、結局1位無しの2位一人、3位二人の受賞という事になった。夜遅く授賞式とファイナルパーティーが行なわれ、一夜明けて、長い滞在の間にすっかり仲良くなった審査員の仲間と別れを告げマドリッドへ戻った。

日本で5日後にリサイタルを開く為に直ぐに帰国しなければならなかったが、帰国日の朝、ギリギリでアルベニス研究の権威ハシント・トーレス教授と会う事が出来た。彼は以前から私のスペイン作品の演奏を高く評価してくれていて、サイン入りで彼の著書をプレゼントしてくれた。駆け足だったが、とても充実した滞在になった。(現在「スペインピアノ作品の魅力(仮題)」を執筆中。2004年1月に東京音楽社から出版予定。ご希望の方にはサイン入りでご提供します。お楽しみに！ ホームページもご覧ください。http://www2.ocv.ne.jp/~yukine/)



▲ハエン国際ピアノコンクールの審査会場

ESPAÑA Y JAPÓN SON DIFERENTES

Emilio Olmos

Me gusta mucho Japón. Por supuesto que también me gusta mucho España.

Desde muy jovencito mi sueño era residir y trabajar en Japón. No pude conseguirlo hasta que cumplí cuarenta y ocho años. Actualmente tengo sesenta y cinco.

De ambos países me encanta su historia, su cultura, su geografía, sus paisajes y
su gente.

Y justamente, lo que más me gusta son sus diferencias. Diferencias entre las cosas grandes e importantes, como edificios, ferrocarriles, manera de pensar, idiosincrasia, etc. Pero, sobre todo, sus diferencias en sus cosas pequeñas. Esas cosas, en apariencia poco importantes, para mí son las más importantes, porque son sin preparar, se realizan espontáneamente y reflejan verdaderamente el corazón de las personas.

Les voy a narrar una encantadora experiencia, entre las muchas que a diario tengo.

Paseaba yo con una amiga por una montaña de Nagano; y había, en una roca reseca por los rayos del sol, un caracol. Mi amiga se detuvo. Después de dar yo dos pasos en solitario, me acerqué a donde ella estaba y contemplé una escena que todavía me emociona el recordarla. Estaba ella cogiendo el caracol, con toda delicadeza trataba de despegarlo de la recalentada pared y cuando lo consiguió lo trasladó a un sitio húmedo humbrío. Sin ningún comentario. Otra vez a mi vera, continuamos nuestro paseo.

Esta naturalidad en realizar un hecho tan sencillo, y el después haberme enterado, comentándolo con otra japonesa, que es totalmente normal esta actitud en todos ellos, es una de las grandes diferencias que hay entre los dos países. El que haya esas diferencias es
justamente lo que más me gusta.

スペインと日本の相異

はじめに、私は日本が大好きです。もちろん母国スペインも大好きであることは言うまでもありません。

若い頃からの私の夢は日本に住み、日本で働くことでした。しかし、いろいろな事情で、48歳までその夢を果たすことが出来ませんでした。48歳の時に日本に来て、今、私は65歳になりました。

私は、スペインと日本両国の歴史、文化、地理、風景、そこに住む人々が大好きです。なかでも一番興味のあることは、二国間のいろいろな違いです。建造物、鉄道、人々の考え方、気質といった主要な点における違いもありますが、とりわけ私が好きなのは、小さな事柄における違いです。それらは一見たいして重要には見えませんが、私にとっては一番大切な事柄なのです。なぜなら、小さな事柄は前もって準備されたものではなく自然に行われるものであり、人々の心をそのままに映し出すものだからです。

私は毎日いろいろな経験をしています、私が味わった素晴らしい体験をお話しいたしましょう。

◆第一話 かたつむり

ある時私は、長野県のある山の中を、一人の女性と散歩していました。太陽の光でからからに乾いた岩の上に一匹の「かたつむり」がいました。彼女は足をとめました。私はそのまま一人で歩を進めていたのですが、ふり返って彼女の所へ近づきました。その時私は、今思い出しても感動するのですが、素晴らしい光景を目にしました。彼女はその「かたつむり」を手にとり、そっとそっと注意しながら熱くなった岩から「かたつむり」をはがし、日陰の湿った場所に移しました。黙って、何も言わずに……。そして何事もなかったかのように再び私の傍らに立ち、私たちは散歩を続けました。

この事を他の日本人女性に話したところ、「私もそうするでしょう」という彼女の言葉を聞いて、このようなさりげなさは、多くの日本人が持っているのだということが分かりました。これこそ、スペインと日本の間に見られる大きな違いの一つなのです。このような相異こそ、最も私の心をとりにする事なのです。

(訳：高柳治子)

北海道へ転勤しました

露久保 孝一

¡Hola, amigos !

¿Cómo están? Soy Koichi Tsuyukubo. Les he enviado la carta desde la gran tierra del norte.

これが、スペイン旅行なら気分そう快なんだけど……。私は7月11日、羽田空港をJALに乗って飛び立ちました。着いたところは、マドリードではなく、北の大地の玄関、新千歳空港でした。実は、転勤のため札幌に移動したのです。

すでに新聞社の札幌支局の一員（支局長として）になり切って活動しています。市内にマンションも借りて、当面ひとりでの生活を続けていきます。

今から思えば、6月17日の故フランシスコ・ホセ・デル・カスティージョ元駐日スペイン大使の50回忌のミサ、墓参、それに次ぐハビエル・コンデ大使ご夫妻を囲んだパーティが私には送別会になったみたいです。

「Y Viva España」も皆さんと歌えたとし、感動しました。またそんな楽しみを、とっていたら転勤になってしまいました。パーティのあと、エミリオさんと二人でとぼとぼ歩いて、桜木町の駅へ行ったのも、なつかしい思い出となりました。

でも、札幌にいても「横浜スペイン交流協会」のメンバーでいたいと思います。札幌に住むのは初めてですので、まだ個人的な友人、知人はいません。スペイン語に関しては何もありません。会員の方で北海道に縁のある方がいましたら、情報を伝えていただけませんか。北海道におけるスペイン、スペイン人、スペイン語など何かありましたらお知らせください。



▲小樽港の船上にて

ースペイン・ミニミニ情報ー

◆パエージャ発祥の地で、パエージャ・コンクール

バレンシア州は稲作が盛んであることから、スペインの米所といわれ、パエージャ発祥の地となっています。

このバレンシア州バレンシアの南約30kmにあるアルブフェラ湖畔の町スエカ（Sueca）で、毎年9月上旬お米祭り（Festival Arroz）が開かれます。この祭りは数日間開催されますが、メイン・イベントは「国際パエージャ・コンクール」で、世界各国よりのシェフが腕を競い合います（ちなみに、去年は世界各国から45人のシェフが参加）。

コンクール当日の朝10時、会場となる国鉄駅横の大通りに参加者が集合。用意された同じ材料、パエージャ鍋、焚き木を使うのが規則になっていて、各自がそれらを自由に選択し、組み合わせて独自のレシピでパエージャを作ります。

このコンクールは日曜日に開催され、毎年日にちが変わります。今年は9月14日が予定されています。

なお、このコンクールに先立って、金曜日の夜、一般の人々が各自に持ち寄った材料と道具を使ってパエージャを作るパエージャ・ナイトパーティが開かれます。

料理に自信のある方は、参加してみたいいかがでしょう？

ー賛助会員各社の会員サービス内容ー

◆会員証の提示で、下記賛助会員企業より、表記のサービスが受けられます。

賛 助 会 員	住 所	電 話 番 号	会 員 サ ー ビ ス 内 容
レストランオーリーブ	横浜市中区高島2-5-10	045-441-4996	サングリア1杯無料
カサ・デ・フジモリ 関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サングリア1杯無料
Bar Español	カサ・デ・フジモリ 関内本店前	045-651-1074	サングリア1杯無料
カサ・デ・フジモリ 目黒店	J R 目黒駅（東京）徒歩5分	03-5420-5328	サングリア1杯無料
太陽海外航空㈱	東京都中央区京橋2-2-14 山陽アネックスビル	03-3281-2441	成田空港使用料の負担
メイプル・ノブ	横浜市内神奈川区西神奈川1-6-1 サクラビル701	045-321-5638	押し花材料代10%割引
日西商事（うさぎのいる島）	横浜市内戸塚区品濃町252-3	070-5024-8196	ワイン1杯無料
カサ・デ・セビージャ	横浜市青葉区青葉台1-32-35	045-981-1282	ワインまたはサングリア1杯無料

//////////////// 新入会員紹介 //////////////////

倉沢 穂香子 (Hokako Kurasawa) 2003年5月3日入会

東京都港区

10年くらい前、スペイン語の勉強を始めました時、会員の真木幸子様と出会い、それ以来お付き合いをさせて頂いております。彼女から協会の魅力あるお話を伺い、スペイン大好き人間の私も一員にさせて頂きたく入会しました。

山下 皋 (Satsuki Yamashita) 2003年5月20日入会

横浜市南区

スペインは、私が長年打ち込んでいるパッチワークキルトのデザインの宝庫です。ムデハル様式の美しい紋様や装飾タイル。それに陽気なスペイン気質と、おいしい料理に魅せられて入会しました。いつも旅行には、カメラとビデオ、スケッチブックを携行しています。

太田 邦雄 (Houyu Ota) 2003年5月20日入会

横浜市神奈川区

現役の頃、スペイン語圏で仕事の機会があり、語学に興味を持ちました。忘れてしまうことばかりですが、少しでも刺激になろうかと、スペイン語にチャレンジしています。

塚本 純子 (Junko Tsukamoto) 2003年8月5日入会

東京都練馬区

スペインの地方の小さな村々、チンチョン、グアダルルーペなどが、大好きです。

***** INFORMACIÓN *****

◎スペイン語教室は10月から後期が始まります！

当協会主宰のスペイン語教室は、すでに10クラスが活動しています。各クラス各々特徴があり、楽しくスペイン語の勉強ができると好評です。また、複数のクラスを受けることによって相乗効果も期待できます。

後期が10月から始まります。会員のみならず、初心者の方を含めて一般の方々の参加をお待ちしています。

詳細は同封の「教室ご案内」か、ホームページ (<http://www.yokohama-spain.org>) をご覧ください。

◎AIYES通信に関するアンケート結果

2003年5月にAIYES通信に関してアンケートを実施しました。多くの会員のみなさまから回答やご意見をいただきましたので、結果をご報告します。回答数50 (回答率=42%)。 (会報編集委員)

- (1) AIYES通信はよく読んでいますか？ よく読んでいる……41 (84%) ところどころ読んでいる……8 (16%)
- (2) どの記事に興味がありますか？ (複数回答・多い順) ①スペイン・サロン (36) ②特別記事 (34) ③スペイン・ミニミニ情報 (30) ④会員投稿 (29) ⑤新入会員紹介 (22)
- (3) 当協会のホームページを見えていますか？ よく見ている……23 (51%)
- (4) 希望記事、投稿しやすくするためのアイデア、広報全般へのご意見……130件。

＜編集後記＞ 協会のホームページがリニューアルされました。開設以来1年を迎え、9000を上回るアクセスをいただきました。これを機により見やすい内容へと衣替えをしました。AIYES通信同様ぜひお役立てください。

* 投稿寄稿宛先

横浜市青葉区
横浜スペイン交流協会会報係

次号の原稿締切は

11月15日(土)です。

投稿は800字以内、写真1点をお付け下さい。